

開館40周年記念 I 日本・デンマーク国交樹立150周年

デンマークの心 イブ・スピング・オルセンの絵本



『アンデルセンの童話』(福音館書店)より 1992年

2017年の日本・デンマーク国交樹立150周年を記念して、デンマークを代表する世界的な画家・イラストレーター、イブ・スピング・オルセンの展覧会を開催します。オルセンは児童書や小説のイラストレーションを中心に、生涯で600冊近い本に絵を描いてきました。2012年の1月に90歳で亡くなり、デンマーク国内で回顧展が開かれたオルセンの多彩な作品世界を、日本の皆さまにも知っていただきたいという遺族の熱意により、当展覧会が企画されました。

デンマークでは、誰もがオルセンの絵を使った本でABCを学んでいると言われるほど身近な存在で、本の装丁やイラストレーション、アニメーション、ポスターなど、グラフィックデザインの分野で幅広い活躍を見せています。オルセンは、絵本のなかで自身が生まれ育った街をはじめ、デンマークの景観や自然を魅力的に描いています。卓越した技量と芸術性を併せ持つ、そのいきいきとした絵本は、国境を超えて愛され、読み継がれています。日本での初公開作品の数々をお楽しみください。



『はしれちいさいきかんしゃ』(福音館書店)より 1963年



『キオスクおばさんのひみつ』(文化出版局)より 1964年



『ぼくのあかいボール』(BL出版)より 1983年



イブ・スピング・オルセン
Ib Spang Olsen (1921-2012)

デンマークに生まれる。教職に就きながら、王立美術大学でグラフィックアートを学ぶ。絵本などのためのイラストレーションのほか、アニメーションや陶器のデザインなど、活動の幅は広い。1972年度国際アンデルセン賞画家賞、1976年インダストリアル・グラフィックデザイン賞などを受賞。絵本に『つきのぼうや』(福音館書店)『かぜ』『あめ』(亜紀書房)『ぼくのあかいボール』(BL出版)『ネコの住むまち』(メディアリンクス・ジャパン)など。2012年没。

【同時開催】
ちひろと世界の絵本画家コレクション
わたしのアンデルセン

いわさきちひろ マッチをともす少女
『マッチうりの少女』(偕成社)より 1964年



【会期中のイベント】

イブ・スピング・オルセン展ギャラリートーク

3/11(土) 14:00 ~ 15:00

講師：穂積 保(こどもの本WAVE代表)

生前のオルセンと長らく交流のあった講師が、展覧会のみどころをお話します。

松本猛ギャラリートーク

3/12(日) 14:00 ~

講師：松本 猛(絵本学会会長・ちひろ美術館常任顧問)

ちひろの息子である松本 猛が作品にまつわるエピソードなどをお話します。

ガーデントーク「ちひろの庭の花めぐり」

3/26(日) 14:00 ~ 14:30

「ちひろの庭」や展示室で、ちひろが愛した草花などのエピソードを紹介します。

わらべうたあそび

4/1(土) 11:00 ~ 11:40 0 ~ 2歳児と保護者対象

講師：服部雅子(西東京市もぐらの会代表、はとさん文庫主宰)

ギャラリートーク

毎月第1・3土曜日 14:00 ~

えほんのじかん

毎月第2・4土曜日 11:00 ~

講演会「北欧の子どもの本」

4/15(土) 15:00 ~ 16:30

講師：福井信子(東海大学文学部北欧学科教授)

アンデルセンの生まれた国・デンマークを中心に北欧の子どもの本の歴史や最新動向などをお話します。

【次回展予告】

2017年5/19(金) ~ 8/20(日)

【企画展】高畑勲がつくるちひろ展 ようこそ!ちひろの絵のなかへ

【企画展】奈良美智がつくる茂田井武展 夢の旅人

【イブ・スピング・オルセン展巡回先】

2017年9/16(土) ~ 11/7(火) 安曇野ちひろ美術館



公益財団法人いわさきちひろ記念事業団

ちひろ美術館・東京

<http://www.chihiro.jp/>

〒177-0042 東京都練馬区下石神井4-7-2 テレフォンガイド:03-3995-3001 TEL:03-3995-0612 FAX:03-3995-0680

○開館時間: 10:00 ~ 17:00(入館は閉館の30分前まで)

○休館日: 月曜日(祝日は開館、翌平日休館)※4/12は臨時休館、5/1は開館

○入館料: 大人800円/高校生以下無料

○交通: 電車の場合—西武新宿線上井草駅下車徒歩7分

バスの場合—JR中央線荻窪駅より西武バス石神井公園駅行き(荻14)「上井草駅入口」下車徒歩5分

西武池袋線石神井公園駅より西武バス荻窪駅行き(荻14)「上井草駅入口」下車徒歩5分

